



学校教育目標「かかわる つながる よく生きる」

天応小・中学校 学校だより 令和4年6月号

描ける 架ける 翔る



呉市立天応小学校 Tel 0823 (38)7584

呉市立天応中学校 Tel 0823 (38)7545

鍛える 想う 求める

これからの変化の激しい時代を見据え、学校教育目標を見直したことに伴い、目指す子供像（天応小・中学校で育てたい子供の姿）も見直しました。

目指す子供像「鍛える 想う 求める」子供

「鍛える」子供とは 自分に負けず、より善い自分となるよう鍛え続ける。

「想う」子供とは 対話により自他のよさを見いだし、他者に共感的にかかわる。

状況や場の変化に相應しい振る舞いを想像し、具体的な行動をとる。

「求める」子供とは 対話や多様な他者との協働をとおして学び、「なぜ?」「どうして?」を深く探る。これにより、常によく生きることを見いだす。

3つの言葉の中に、将来、より良い社会の担い手となるために、義務教育段階で特に大切にしたい資質・能力を含めています。

これらの子供像を学校（教職員、児童生徒）、家庭、地域が共有し、大人は、子供と対面する場面などで、言葉のかけ方を含めた関わり方を意識する。子供は、公的な時間（学校内外の教育活動、地域活動）は当然ながら、私的な時間においても、自分を広げ、深める視点として大切にすること。こうしたことが、子供の育ちに好循環を創ることにつながると考えます。

3つのうち、特に重要であると考えことは「想う」ということです。

**自分は世の中でただ一人の、かけがえのない存在であること。**

**自分と他者それぞれが、個性を持った尊い存在であること。**

**自己を認め、他者を認めること。多様性を受容すること。**

こうした自他のよさを見いだし、共感的にかかわることが、豊かなコミュニケーションを生み、互いの成長につながると考えます。

## いじめ撲滅キャンペーン

呉市立の学校では、教育委員会と各学校がいじめの状況を共有し、義務教育9年間を見通した継続的な指導を行うため、年間2回「いじめ撲滅キャンペーン」の取組を実施しています。

この取組は、児童生徒一人一人が児童会・生徒会を中心とした主体的な活動を通して、いじめに対する問題意識を高めるとともに、いじめは絶対に許さないという心を育むことをねらいとした取組です。

また、小中一貫教育のよさを生かし、発達段階を考慮した継続的な取組及びいじめゼロを目指した学校の風土、環境の醸成を図るために、各学校で「いじめ撲滅キャンペーン」を行います。

本年度の取組期間は、次のとおりです。

第1回：令和4年 6月 6日（月）～ 7月 8日（金）

第2回：令和4年10月 3日（月）～11月 4日（金）

これらの期間の中で、児童会・生徒会の中に、いじめ防止等のための委員会を設置し、児童生徒が主体的に活動するキャンペーンや、標語の募集、いじめアンケート、道徳科の授業等、いじめを許さない風土を醸成する取組を進めます。

児童生徒は、家庭や学校生活の中で、互いの個性やよさを認める心を培うこと、教職員や保護者等の大人は、日常の見守りの中で、変化の兆しに気付き、声をかけることが、いじめの未然防止につながることと考えます。

「おはようございます」、「こんにちは」等の挨拶を交わすことが、その第一歩です。

## 体育祭（中学校）

## 縦横無尽 ～ 全力で光輝け ～



5月21日（土）午後から、「縦横無尽 ～ 全力で光輝け～」のスローガンのもと、演技種目は、団体（綱引き、長縄跳び）、団対抗天中ソーランの3種目で実施しました。

各演技では、全力で演技する演技者は勿論、それを支える係の生徒も状況に応じ機敏に行動する姿が素敵でした。とりわけ、団対抗天中ソーランでは、各色の団が、3年生を中心に、腰の低さや指先まで意識し、隊形移動など工夫した演技を披露しました。そして、新たに取り入れた和太鼓の音色は、これらの演技に迫力と勢いをもたらしてくれました。

全員の、全力演技がとても素敵でした。

また、コロナ禍で、中止や無観客開催が続くなか、ようやく保護者の皆様（人数を制限させていただきました）に、子供達の全力の演技を御覧いただく機会となりました。

温かいご声援ありがとうございました。



## 体育参観日（小学校）

小学校では、校舎建設中のグラウンド状況を考慮し、5月24日（火）中学年（3・4年生）、25日（水）高学年（5・6年生）、26日（木）低学年（1・2年生）の三日間に分割して、体育参観日を行いました。それぞれ2種目ずつの演技でしたが、すべての演技で、子供たちは輝きを放っていました。走る場面での全力疾走と踊る場面でのかわいらしさやたくましさ、学年ごとの特徴がよく出ていました。高学年の最後では、振り返りの場面があり、5年生は6年生への感謝の言葉を、6年生は5年生へ思いやりの言葉を掛け合うシーンがありました。この体育参観日を通じて互いの学び合いがあったことが伝わってきました。現中学1年生が開発した、「天小体そう」を、中学年が整理体操で披露してくれたことも嬉しかったです。

平日にもかかわらず、本当に多くの保護者の皆様に参観していただいたことが、子供たちにとっても私達教職員にとっても、大きな励みとなりました。

コロナ禍であっても感染症対策の徹底を図り日々の指導に全力を尽くした先生方とそれに応えようとした子供たち、そして、たくさんの応援、支援をくださった保護者の皆様に感謝いたします。

| 学 年 | 種 目                                         |
|-----|---------------------------------------------|
| 中学年 | 1・2・3（ダンス）、かがやけファイブスター（くれチャレンジマッチ・スタジアムの種目） |
| 高学年 | 天小ソーラン、ダッシュリレー（くれチャレンジマッチ・スタジアムの種目）         |
| 低学年 | ダンシング玉入れ、リレー                                |



中学年「1・2・3」



高学年「天小ソーラン」



低学年「ダンシング玉入れ」

## 全校ミニ遠足・さくらんぼの収穫（小学校）

5月6日（金）に呉ポートピアパークを目的地として全校ミニ遠足を行いました。6年生が企画した「1年生を迎える会」では、1年生一人一人が大きな声で自己紹介を行いました。その後、感染症対策を図りながら、お弁当をいただいたり、楽しく遊んだりすることができました。

そして、1・2年生は、遠足からの帰りに、天応地区交通安全推進協議会の井田淳一郎会長のお宅に伺い、4年ぶりにサクラんぼを収穫させていただきました。

